

平成28年度第1回横浜市保健医療協議会会議録	
日 時	平成28年7月29日（金）19時00分～20時49分
開催場所	ワークピア横浜 2F「くじゃく」
出席者	和泉俊一郎委員、大久保一郎委員、鈴木野枝委員、高橋恵委員、鶴本明久委員、伏見清秀委員、伊丹昭委員、井上亮一委員、上島汐路委員、蟹澤多美江委員、白井尚委員、杉浦由美子委員、杉山紀子委員、寺師三千彦委員、中野利彦委員、新納憲司委員、芳賀宏江委員、八亀忠勝委員
欠席者	叶谷由佳委員、佐伯彰委員
開催形態	公開、議題（2）は非公開（傍聴者0人）
議 題	<p>1 議題</p> <p>（1）会長・副会長の選出について</p> <p>（2）横浜北部医療圏の病床について（医療局）</p> <p>（3）よこはま保健医療プラン策定検討部会の設置について（医療局）</p> <p>2 報告</p> <p>（1）平成28年度病床整備事前協議の実施について（医療局）</p> <p>（2）病床整備状況について（医療局）</p> <p>（3）地域医療構想調整会議における検討状況について（医療局）</p> <p>（4）よこはま保健医療プラン2013進ちょく状況等について（27年度達成状況）（医療局）</p> <p>（5）横浜市救急相談センター（#7119）の24時間化について（医療局）</p> <p>（6）「横浜市がん対策の今後の進め方」の策定について（医療局）</p> <p>（7）平成28年度横浜市食品衛生監視指導計画について（健康福祉局）</p> <p>（8）薬物乱用防止啓発事業の実施状況について（健康福祉局）</p>
決定事項	<p>1 会長に大久保委員、副会長に白井委員を選任した。</p> <p>2 横浜北部医療圏の病床について、本協議会の意見を神奈川県保健医療計画推進会議に伝えることとした。</p> <p>3 次期よこはま保健医療プランの策定に向けた専門部会「よこはま保健医療プラン策定検討部会」を設置し、部会長に大久保委員を選任した。</p>
議 事	<p>1 開会（委員・事務局・局長あいさつ）</p> <p>2 議題</p> <p>（1）会長・副会長の選出について（事務局倉本課長）</p> <p>委員の一斉改選により、新たな会長、副会長の選任が必要となりました。要綱では、会長は委員の互選により定めることになっているため、ご推薦等をお願いします。</p> <p>（白井委員）</p>

保健医療政策学を専門とされる大久保委員を推薦したいと思いますが、いかがですか。

(委員) 異議なし

(事務局倉本課長)

それでは、大久保委員に本会会長をお願いします。以降の進行は大久保会長をお願いします。

(大久保会長)

このたび横浜市の保健・医療・生活衛生施策の計画や評価を行う、横浜市保健医療協議会の会長という非常に重要な役割を担うことに身の引き締まる思いです。よろしくをお願いします。

それでは早速、議事に入らせていただきます。要綱第5条の2によると、副会長は会長が指名することとなっております。副会長に横浜市医師会会長の白井委員にお願いしたいと思います。

(2) 横浜北部医療圏の病床について (医療局)

(大久保会長)

それでは、「横浜北部医療圏の病床について」、事務局から説明願います。

(事務局倉本課長)

議題(2)「横浜北部医療圏の病床について」は、開設者から提出された内容には法人の事業計画等が含まれています。これらは、参考資料1「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」第7条第2項第3号及び第5号に該当するもので、非公開情報に該当するものとされています。非開示情報に該当する事項を審議する場合には、本条例第31条のただし書き第2項の非開示情報に該当する事項を審議する場合は、同条例第31条ただし書き第2号及び第3号、横浜市保健医療協議会運営要綱第8条ただし書により、非公開にすることができるとされております。本日の議題

(2)の審議については非公開したいと考えておりますが、いかがでしょうか。

(大久保会長)

議題(2)に関しては非公開ということで、ご了承いただけますでしょうか。

(委員) [一同了承]

(大久保会長)

それでは、議題(2)について非公開とします。

(3) よこはま保健医療プラン策定検討部会の設置について (医療局)

(大久保会長)

それでは、議題(3)「よこはま保健医療プラン策定検討部会の設置について」、事務局から説明願います。

(事務局倉本課長)

よこはま保健医療プラン策定検討部会の設置について説明。

(大久保会長)

ただいまの説明に関して、よこはま保健医療プラン策定検討部会を設置するという  
ことで、よろしいでしょうか。

(委員) [一同了承]

(大久保会長)

特に異議がないようですので、これで進めます。

部会の構成員及び部会長は、会長が指名することになっておりますが、皆様のご  
意見があればお聞きしたいと思います。委員の皆様から推薦される方はいらっしゃ  
いますでしょうか。

(杉山委員)

現行のよこはま保健医療プランの作成にご尽力いただきました大久保先生に、引  
き続き部会長をお務めいただくのが一番よろしいのではないかと考えております  
が、いかがでしょうか。

(委員) [一同了承]

(大久保会長)

ありがとうございます。それでは、よこはま保健医療プラン策定検討部会の部会  
長もあわせて務めさせていただくということで、頑張っていきたいと思  
います。部会の委員につきましては、副会長及び事務局と相談しながら選任していき  
たいと思  
います。

### 3 報告

(1) 平成28年度病床整備事前協議の実施について (医療局)

(大久保会長)

それでは、報告(1)「平成28年度病床整備事前協議の実施について」、事務局  
から説明願います。

(事務局倉本課長)

平成28年度病床整備事前協議の実施について報告。

(大久保会長)

事務局からの説明によりますと、基準病床数より既存病床数の方が多いとい  
うことで、事前協議は行わないということかと思  
います。特にご質問・ご意見はないよ  
うですので、事前協議は行わないとい  
うことで進めていきたいと思  
います。

なお、横浜市では、現在、3つある二次保健医療圏を1つにしようという考  
え方がありますが、いつごろから行  
う予定ですか。

(事務局倉本課長)

その点については、後ほど報告(3)でご説明させていただきますが、平成30  
年度以降を計画期間とする次期医療計画で定められるものであり、同時  
期に策定され

る次期よこはま保健医療プランに反映できるよう、調査・検討を進めてまいります。

(2) 病床整備状況について (医療局)

(大久保会長)

それでは、報告(2)「病床整備状況について」、事務局から説明願います。

(事務局倉本課長)

病床整備状況について報告。

(大久保会長)

ただいま病床の整備状況について説明がありましたが、ご意見・ご質問等がありますか。

(伏見委員)

先ほどの事務局の説明では、既存病床が既に飽和しているため、新設が認められない状況にあるということだと思います。協議で一度承認した病院が数年にわたって開設できないということは、この病床が塩漬け状態になってしまっているということですが、開設までの年限などを決めることで、場合によっては返納させるというようなことはないのでしょうか。

(事務局倉本課長)

病院開設等の許可申請は、原則として配分年度の翌年の11月30日まで行うことになっております。ご指摘のとおり、承認された病床は既に既存病床数に算入されています。このため、病床整備が遅延している場合、その分の医療が提供できないという状況になっておりますので、遅延している開設者に対しては返納も含めて強く指導しています。

(大久保会長)

ありがとうございます。平成18年度に配分された牧野リハビリテーション病院については長年の懸案でありましたが、やっと着工できたということで大分前進したかなと思います。ただいま伏見委員からのご指摘がありましたように、既に配分されたものを有効に活用するよう、しっかりと行政としてのご指導をお願いいたします。

また、平成25年の横浜鶴見リハビリテーション病院では、土地確保を進めたいとありますが、こちらの状況はいかがでしょうか。

(事務局倉本課長)

横浜鶴見リハビリテーション病院では、土地確保のため市有地公募売却事業への応募を予定していますが、まだどちらとも言いがたい部分があり、当該開設者においては、この売却で取得できなかった場合は返納も考えていると伺っております。

(3) 地域医療構想調整会議における検討状況について (医療局)

(大久保会長)

それでは、報告（３）「地域医療構想調整会議における検討状況について」、事務局から説明願います。

(事務局倉本課長)

地域医療構想調整会議における検討状況について報告。

(大久保会長)

現在、地域医療構想に関するパブリックコメントを実施しておりますので、ご意見等ございましたら、このパブリックコメントに出すことも可能です。ただいまの説明につきましてご意見・ご質問等がありますか。

(新納委員)

地域医療構想では、医療提供体制の確保を考えて二次保健医療圏を１つにするということになりましたが、不足する病床を確保するにあたり、１つの二次保健医療圏を範囲として考えるということは難しい問題であるため、また地域医療構想調整会議でお話ししたいと思うのですが、よろしいでしょうか。

(大久保会長)

事務局の説明は、地域医療構想に関する検討内容の報告ということですので、ただいまのご意見は、地域医療構想調整会議でお話しいただければと思います。

(４) よこはま保健医療プラン2013進ちょく状況等について (27年度達成状況)

(医療局)

(大久保会長)

それでは、報告（４）「よこはま保健医療プラン2013進ちょく状況等について」、事務局から説明願います。

(事務局倉本課長)

よこはま保健医療プラン2013進ちょく状況等について説明。

(大久保会長)

ただいまの説明について、意見・質問等がありますか。

進ちょく状況については、おおむね順調にいつている項目が多いのかなという印象を受けました。項目６「精神疾患」では、「警察官通報受理から診察開始までに要した平均時間」の目標である「３時間30分」を依然として１時間程度超えています。難しい状況なのでしょうか。

(事務局杉本部長)

警察官からの通報を受けた後、指定された精神科医のうち、その時間での対応が可能な２名の医師による診療が必要となるため、大変時間がかかります。特に、夕方や夜間の場合は病院も診療体制が手薄になる時間帯であり、県や他の政令指定都市と連携して対応していますが、従来から課題になっているという状況です。この対策として、特に夕方は、医師や看護師が日勤から夜勤への引き継ぎを行う時間に

当たり、非常に手薄になるため、特定の病院にお願いして、できるだけ対応していただけるように改善したところです。

(大久保会長)

ほかにございますか。

(白井副会長)

項目14「終末期医療」については、どのようなことを想定しているのか教えてもらってよろしいですか。

(事務局藤井課長)

1つは市民啓発ということで、人生の最終段階についていろいろと市民の方にお考えいただく機会を設けるという趣旨で、よこはま保健医療プラン作成時に今後の施策として挙げさせていただきました。

(白井副会長)

本協議会とは異なる部会でもこれに関する話があり、リビングウィルや尊厳死等については、これからしっかりと取り組んでいかなければならないと思っています。これに関し、よこはま保健医療プランの中で、今後の取組として何か予定されているのか教えていただけますか。

(事務局藤井課長)

在宅医療連携拠点が18区に設置されましたが、そちらでは市民啓発事業として、人生の最終段階を考えていただくという事業を各拠点で年1回はやっていただいております。また、それ以外につきましても、各区役所におきまして、例えば終活の問題やエンディングノート等の話を取り上げるなど啓発を行っております。今後は、施設も含みました在宅での看取りがかなり増加することが予想されますので、在宅での看取りに関する様々な啓発がさらに重要になってくると考えております。

(白井副会長)

特にお聞きしたいのは、リビングウィルを示している方が終末期を迎えたときに、ご家族はどのようにその意思を尊重するのか。また、医療機関はどのリビングウィルをもって判断を行うのか、ということです。例えば、胃ろうやレスピレーターの装着について、どのように判断するのかということもある程度行政で検討を進めていただき、現場で不幸な訴訟等が起こらないよう、考えていただければありがたいと思っております。

(大久保会長)

そういうご意見ということで、ご検討いただければと思います。ほかにございますでしょうか。

(高橋委員)

精神疾患の普及啓発に関して、よこはま保健医療プランの80ページに、市民の方々が偏見を持たず、精神疾患及び精神障害者についての正しい知識や理解を得られるように、効果的な手法を検証しながら普及啓発を行う旨が記載されています。

これは非常に重要なことで、今回、障害者支援施設での事件等も起こったなか、精神疾患に関する様々な偏見が生じると、それにより本人たちの病状が悪化することもあります。この点に関する取組はどれぐらい進んでいるのでしょうか。

(事務局杉本部長)

項目5「精神疾患の予防啓発」では具体的な数値目標を定めてはいませんが、区役所の福祉保健センターにおいて、区民向け・ご家族向けに、精神障害に対する偏見を持たないよう、講座を開催する等必要な啓発をしています。一方で、知的障害や身体障害とは異なり、精神疾患の啓発は難しく、委員のご指摘のようにまだ必ずしも十分ではないという状況はございます。

(5) 横浜市救急相談センター（#7119）の24時間化について

(大久保会長)

それでは、報告（5）「横浜市救急相談センターの24時間化について」、事務局から説明願います。

(事務局黒岩課長)

横浜市救急相談センターの24時間化について説明。

(大久保会長)

ただいまのご説明につきまして、ご意見・ご質問等がありますか。

(高橋委員)

このような電話相談を行うことで、軽傷者の救急車利用が減少したといったことを検証する予定はあるのでしょうか。

(事務局黒岩課長)

検証については、今後データを蓄積し、1年程度は経過を見ていく必要があると思います。これまでのデータでは、電話相談のうち約1割で救急車の利用が必要ということです。電話相談を行うことで、軽傷者の救急車利用の抑制に関する検証とともに、119番にかけることを躊躇する重症の方を医療につなげるというセーフティネットとしての役割も果たしていると考えております。

(6) 「横浜市がん対策の今後の進め方」の策定について (医療局)

(大久保会長)

それでは、報告（6）「横浜市がん対策の今後の進め方」の策定について、事務局から説明願います。

(事務局杉浦課長)

横浜市がん対策の今後の進め方について説明。

(大久保会長)

ただいまのご説明につきまして、ご意見・ご質問等がありますか。がん対策の基礎資料を得るため、ナショナルデータベースのデータを国に申請していると聞きま

したが、いかがでしょうか。

(事務局杉浦課長)

現在申請中であり、まだ正式な結果は受けておりませんが、国から承諾を得られれば活用したいと思っております。

(7) 平成28年度横浜市食品衛生監視指導計画について (健康福祉局)

(大久保会長)

それでは報告(7)の「平成28年度横浜市食品衛生監視指導計画について」、事務局から説明願います。

(事務局保課長)

平成28年度横浜市食品衛生監視指導計画について説明。

(大久保会長)

ただいまのご説明につきまして、ご意見・ご質問等がありますか。

(寺師委員)

食物アレルギーによる健康被害の防止についてですが、先月、港北区内の小学校で生徒に食物アレルギーが発生したということがありましたが、それに対する監視指導はすでに終了しているのでしょうか。

(事務局保課長)

6月28日の給食において、4区14校で19名の児童がアレルギーを発症したということで、私ども保健所と福祉保健センターが現場の調査や残っていた給食の検査等を行いました。発生した原因は、製造メーカーが本来は乳を使用しないことになっていたコロッケに乳を使用してしまったことです。調査については福祉保健センター、健康安全課及び食品衛生課が、検査については衛生研究所が行っております。

(寺師委員)

今後、検査結果に基づき、業者に対する指導を行う予定ですか。

(事務局保課長)

北海道の業者であるため、横浜市からの依頼に基づき、北海道が立ち入り調査及び指導をしております。

(大久保会長)

ほかにご意見・ご質問等がありますか。

(八亀委員)

とにかく食中毒は非常に危険ですので、食品衛生協会としても、一生懸命指導しております。

(8) 薬物乱用防止啓発事業の実施状況について (健康福祉局)

(大久保会長)

それでは、(8)「薬物乱用防止啓発事業の実施状況について」、事務局から説



	<p>明願います。</p> <p>(事務局濱課長)</p> <p>薬物乱用防止啓発事業の実施状況について説明。</p> <p>(大久保会長)</p> <p>ただいまのご説明について、ご意見・ご質問等がありますか。市の薬剤師会もご協力されているということですが、何か追加の発言などございますか。</p> <p>(寺師委員)</p> <p>今回の「薬物乱用防止キャンペーン」から、これまでと異なり、ターゲットを小中高校生に当てています。キャンペーン内容については、リーフレットをご覧ください。</p> <p>(大久保会長)</p> <p>ほかにご意見・ご質問等がありますか。</p> <p>(高橋委員)</p> <p>薬物依存や覚せい剤の汚染に関するキャンペーンは多く行われていますが、専門家の立場からいいますと、実際に薬物を使用する人の周りには、すでにドラッグ等の汚染が身近に生じているケースが多いといえます。例えば、中高生で薬物を使用する人は、その家族がドラッグを使っていることがあります。このような場合に、自分の家族は人ではないという受け取り方をしてしまうと、さらに相談から遠ざかってしまうことがあると思います。困ったら相談できる窓口があることは非常に重要だと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>(事務局杉本部長)</p> <p>横浜市では、こころの相談センターを設置しており、このような精神的な相談を受けております。区役所に相談があった場合は、一定程度専門職がいますが、医師はおりませんので、こころの相談センターに相談をつなげるなどの対応をしております。</p> <p>(高橋委員)</p> <p>このような企画の実施に当たっては、ブースの1つとして、相談できるコーナーを置いていただきたいと思います。</p> <p>(事務局濱課長)</p> <p>こちらのイベントでは、実際に薬物を乱用してしまった経験のある方として、横浜ダルクの方に来ていただき、様々なかたちで経験談をお話いただくというブースも用意してございます。</p> <p>(大久保会長)</p> <p>これで報告事項すべて終わりました。今までの報告事項の中で確認したいことはありますか。</p> <p>(伊丹委員)</p>
--	---

	<p>障害者支援施設での事件が発生し、措置入院という言葉と聞かれています、あのような問題に関しても、保健医療協議会の議題となるのでしょうか。</p> <p>(事務局杉本部長)</p> <p>相模原市で大変大きな事件が起きまして、新聞等においても、措置入院から退院した場合のフォローについて様々な議論がされています。日本全体がそうかもしれませんが、今のところうまくフォローができていないという問題があります。今後、そのようなことに関して、委員の方々にもご議論いただけるかについては、会長及び事務局とご相談させていただきたいと考えております。</p> <p>(伊丹委員)</p> <p>様々な性犯罪についても、どのようにフォローしたらよいかということは、プライバシーの問題もあるため、非常に大きな課題であると考えています。</p> <p>(事務局杉本部長)</p> <p>横浜市には精神保健福祉審議会という精神関係を取り扱う審議会を持っており、場合によってはそちらの審議会でも検討したうえで、保健医療協議会にご報告させていただく等も考えられますので、補足させていただきます。</p> <p>4 その他</p> <p>(大久保会長)</p> <p>それでは、本日予定した議題、報告すべて終了いたしましたので、事務局から何かありましたらよろしく願いいたします。</p> <p>(事務局倉本課長)</p> <p>次回(第2回)の保健医療協議会は、来年2月頃に開催を予定しています。</p>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料1 : 横浜市保健医療協議会運営要綱</li> <li>・資料2 : 横浜北部医療圏の病床について</li> <li>・資料3 : よこはま保健医療プラン2018の策定について</li> <li>・資料4 : 平成28年度病床整備事前協議の実施について</li> <li>・資料5 : 病床整備の状況(平成28年7月現在)</li> <li>・資料6-1 : 地域医療構想(素案)のパブリックコメント実施について</li> <li>・資料6-2 : 神奈川県地域医療構想(素案)</li> <li>・資料7 : よこはま保健医療プラン2013進ちょく状況(平成27年度)</li> <li>・資料8 : 横浜市記者発表資料(#7119は、24時間対応!) : リーフレット「急な病気やけがで受診の相談をしたいときは…」</li> <li>・資料9 : 平成28年度 横浜市食品衛生監視指導計画(概要版)</li> <li>・資料10 : 薬物乱用防止啓発事業の実施状況について : リーフレット「第5回薬物乱用防止キャンペーン」</li> <li>・参考資料1 : 横浜市の保有する情報の公開に関する条例(一部抜粋)</li> <li>・参考資料2 : 横浜市保険医療協議会委員名簿及び事務局名簿</li> </ul>